

## 大都市の人口の推移－国勢調査結果から－（その1）

国勢調査は、我が国の人口・世帯の実態を明らかにすることを目的として行われる国の最も重要な統計調査です。大正9（1920）年に第1回目の調査が実施されて以来、平成22（2010）年に至るまで、ほぼ5年ごとに19回実施されてきました（注1）。

国勢調査の結果から、大都市（政令指定都市及び東京都区部（注2））の人口について、比較しながら紹介します（注3）。

（注1） 西暦が5の倍数の年に実施されます。但し、終戦直後の昭和20（1945）年は実施されず、昭和22（1947）年に臨時の国勢調査が実施されました。

（注2） 東京都区部とは、東京都のうち23の特別区を指します。

（注3） 本稿においては、20の政令指定都市及び東京都区部の計21地域のみを対象とします。また、使用する統計資料は国勢調査結果とします。

### 1 京都市の人口

京都市の人口は、大正9（1920）年の第1回調査時は59万1323人でしたが、昭和10（1935）年の第4回調査時には早くも100万人を突破しました（108万593人）。5年ごとの伸びをみますと、昭和5（1930）年から昭和10年にかけての5年間の増加率が最も高く、昭和5年に76万5142人だった人口が、5年後には31万5451人、41.2%増加しています。

終戦直後の昭和22（1947）年第6回調査では100万人を割り込みましたが（99万9660人）、その後は一貫して増え続け、昭和60（1985）年第14回調査において147万9218人に達し、ピークを迎えました。平成2（1990）年の第15回調査時ではいったん減少したものの（146万1103人）、その後は再び上昇に転じています。平成17（2005）年の第18回調査から平成22（2010）年の第19回調査にかけては僅かに796人減少したものの、人口は147万4015人を数え、ピーク時に近い水準で推移しています。

なお、京都市の人口が減少したのは、上記のとおり第6回調査（昭和22年）、第14回調査（平成2年）、第19回調査（平成22年）の3回のみです。

表－1 大都市の人口の推移（各年10月1日現在の国勢調査結果）

	京都市		札幌市	仙台市	さいたま市	千葉市	東京都区部	川崎市	横浜市	相模原市	新潟市
	順位	人口総数	人口総数	人口総数	人口総数	人口総数	人口総数	人口総数	人口総数	人口総数	人口総数
大正9	4	591,323	102,580	118,984	37,246	33,179	2,173,201	21,391	422,938	32,663	92,130
昭和14	4	679,963	145,065	142,894	50,349	41,806	1,995,567	54,634	405,888	34,027	108,941
昭和5	5	765,142	168,576	190,180	62,623	49,088	2,070,913	104,351	620,306	36,209	125,108
10	4	1,080,593	196,541	219,547	88,588	57,446	5,875,667	154,748	704,290	36,807	134,992
15	4	1,089,726	206,103	223,630	113,584	92,061	6,778,804	300,979	968,091	45,482	150,903
22	3	999,660	259,602	293,816	224,072	122,006	4,177,548	252,923	814,379	73,217	204,477
25	3	1,101,854	313,850	341,685	244,184	133,844	5,385,071	319,226	951,189	68,898	220,901
30	4	1,204,084	426,620	375,844	322,746	197,962	6,969,104	445,520	1,143,687	83,841	261,758
35	5	1,284,818	523,839	425,272	379,593	241,615	8,310,027	632,975	1,375,710	101,655	314,528
40	5	1,365,007	794,908	480,925	488,729	332,188	8,893,094	854,866	1,788,915	163,381	356,302
45	5	1,419,165	1,010,123	545,065	600,976	482,133	8,840,942	973,486	2,238,264	278,326	383,919
50	5	1,461,059	1,240,613	615,473	729,887	659,356	8,646,520	1,014,951	2,621,771	377,398	423,188
55	5	1,473,065	1,401,757	664,868	784,595	746,430	8,351,893	1,040,802	2,773,674	439,300	457,785
60	6	1,479,218	1,542,979	700,254	821,854	788,930	8,354,615	1,088,624	2,992,926	482,778	475,630
平成2	7	1,461,103	1,671,742	918,398	901,107	829,455	8,163,573	1,173,603	3,220,331	531,542	486,097
7	6	1,463,822	1,757,025	971,297	968,999	856,878	7,967,614	1,202,820	3,307,136	570,597	494,769
12	7	1,467,785	1,822,368	1,008,130	1,024,053	887,164	8,134,688	1,249,905	3,426,651	605,561	501,431
17	7	1,474,811	1,880,863	1,025,098	1,176,314	924,319	8,489,653	1,327,011	3,579,628	628,698	785,134
22	7	1,474,015	1,913,545	1,045,986	1,222,434	961,749	8,945,695	1,425,512	3,688,773	717,544	811,901

（注1） 京都市の順位は東京都区部も含めて数えています。

（注2） 網掛けは政令指定都市となる直前に実施された国勢調査の結果であり、太字は人口が最大となった国勢調査の結果を示しています。

表－１ 大都市の人口の推移（各年１０月１日現在の国勢調査結果）（続き）

	静岡市	浜松市	名古屋市	大阪市	堺市	神戸市	岡山市	広島市	北九州市	福岡市	熊本市
	人口総数	人口総数	人口総数	人口総数	人口総数	人口総数	人口総数	人口総数	人口総数	人口総数	人口総数
大正 9	74,093	64,749	429,997	1,252,983	84,999	608,644	94,585	160,510	289,460	95,381	70,388
14	131,111	84,772	768,558	2,114,804	105,009	644,212	124,521	195,731	352,804	146,005	147,174
昭和 5	192,145	109,475	907,404	2,453,573	120,348	787,616	139,222	270,417	473,391	228,289	164,460
10	261,859	133,336	1,082,816	2,989,874	141,286	912,179	166,144	310,118	581,757	291,158	187,382
15	280,815	166,346	1,328,084	<b>3,252,340</b>	182,147	967,234	163,552	343,968	747,106	306,763	194,139
22	286,252	125,443	853,085	1,559,310	194,048	607,079	140,631	224,100	592,292	328,548	245,841
25	327,101	152,028	1,030,635	1,956,136	213,688	804,501	162,904	285,712	711,306	392,649	267,506
30	421,758	268,792	<b>1,336,780</b>	<b>2,547,316</b>	251,793	<b>981,318</b>	235,754	357,287	868,032	544,312	332,493
35	471,802	333,009	1,591,935	3,011,563	339,863	1,113,977	260,773	431,336	<b>986,401</b>	647,122	373,922
40	586,264	392,632	1,935,430	3,156,222	466,412	1,216,666	291,825	504,245	1,042,388	749,808	407,052
45	651,344	432,221	2,036,053	2,980,487	594,367	1,288,937	375,106	541,998	1,042,321	<b>853,270</b>	440,020
50	690,001	468,884	2,079,740	2,778,987	750,688	1,360,605	513,471	<b>852,611</b>	1,058,058	1,002,201	488,166
55	699,917	490,824	2,087,902	2,648,180	810,106	1,367,390	545,765	899,399	<b>1,065,078</b>	1,088,588	525,662
60	710,528	514,118	2,116,381	2,636,249	818,271	1,410,834	572,479	1,044,118	1,056,402	1,160,440	555,719
平成 2	713,719	534,620	2,154,793	2,623,801	807,765	1,477,410	593,730	1,085,705	1,026,455	1,237,062	579,306
7	714,266	561,606	2,152,184	2,602,421	802,993	1,423,792	615,757	1,108,888	1,019,598	1,284,795	650,341
12	<b>706,513</b>	582,095	2,171,557	2,598,774	792,018	1,493,398	626,642	1,126,239	1,011,471	1,341,470	662,012
17	700,886	<b>804,032</b>	2,215,062	2,628,811	<b>830,966</b>	1,525,393	<b>674,746</b>	1,154,391	993,525	1,401,279	669,603
22	<b>716,197</b>	800,866	<b>2,263,894</b>	2,665,314	<b>841,966</b>	<b>1,544,200</b>	<b>709,584</b>	<b>1,173,843</b>	976,846	<b>1,463,743</b>	<b>734,474</b>

脚注は前ページを参照してください。

## 2 京都市の人口の順位——他都市と比較して

京都市の人口の順位をみますと、戦前は概ね東京都区部、大阪市、名古屋市に次いで第4位を占めていました。また、当時に人口が100万人を超えていた都市は京都市を含めたこれら4都市に限られており、京都は早くから歴史ある百万都市だったといえるでしょう。

終戦直後の混乱期が過ぎ、高度経済成長期に入ると、都市部に人口が集中するようになり、とりわけ首都圏の人口が急増しました。そのため、京都市の順位は横浜市に次ぐ第5位になり、昭和35年から昭和55年まで第5位という時代が続きました。横浜、名古屋、大阪、神戸、そして京都のいわゆる五大都市が人口の上位を占めるという時代が昭和50年まで続いていたのです。これら五大都市は、昭和31（1956）年に最初に政令指定都市に移行しました。

政令指定都市はその後増加し、現在では概ね人口70万人以上の20の都市が政令による指定を受けており、政令指定都市の居住人口は2715万2386人を数え、全人口の約2割を占めています。

## 3 第1回調査と現在を比較して

京都市の人口は、第1回（大正9年）調査時が59万1323人、第19回（平成22年）調査時が147万4015人を数え、90年間で149.3%増加しました。

他都市と比較しますと、最も増加率が低かった大阪市の112.7%（第1回調査は125万2983人、第19回調査は266万5314人）に次いで2番目に低い結果です。ちなみに3番目に低いのは神戸市で、増加率は153.7%（第1回調査は60万8644人、第19回調査は154万4200人）でした。

京都、大阪、神戸の関西3都市の増加率はいずれも低いという結果でしたが、換言すれば、各都市は戦前から規模の大きな都市だったといえるのではないのでしょうか。

